

年度 2009学期 後期	曜日・校時 木 1	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語Ⅲ (Comprehensive EnglishⅢ)			
対象年次 2年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等) 2P18	科目分類 外国語科目(英語)			
担当教員(科目責任者)/Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:山口敦子/研究室:非常勤講師室/長崎純心大学/TEL:095(846)0084 /オフィスアワー:授業終了時				
担当教員(オムニバス科目等)				
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>日本でも親しまれている英米の物語やエッセイを原文で読むことによって、文法力や語彙力を増やし、長文の読解力を強化することを目標とする。本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景とともに生きた英語を学ぶ。本年度はファンタジーの傑作、『不思議の国のアリス』(<i>Alice's Adventure in Wonderland</i>)をテキストとして取り上げる。数学教師ルイス・キャロルが世に送り出したこの物語の最大の魅力は英語そのものにあると言われる。地口、混成語、パロディ、論理学、ノンセンスとあらゆる言葉遊びが散りばめられたテキストからは英語という言語の多層性と可能性、そして何よりも知的な楽しさを味わうことができる。精読と速読を組み合わせることで、ある程度の難易度をもつ英文を読む力を身につける。</p> <p>授業方法： 毎回和訳を中心にテキストを進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み和訳を発表する。リスニングテープにより、リスニング力を向上させ、英文のリズムを体得する。</p> <p>授業到達目標： 語彙力を強化するとともに、論理的な英文の構造に慣れ、将来専門分野における論文を読みこなす力を付ける。</p>				
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>毎回テキスト『不思議の国のアリス』(<i>Alice's Adventure in Wonderland</i>)に沿って、和訳とリスニングを中心に本文を読み進める。受講者は前もってその箇所を予習しておく。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。</p> <p>第1回 イントロダクション 第2回 Down the Rabbit-Hole 第3回 Down the Rabbit-Hole 第4回 The Pool of Tears 第5回 The Pool of Tears 第6回 A Caucus-Race and a Long Tale 第7回 Advice from a Caterpillar 第8回 Pig and Pepper 第9回 The Mad Tea Party 第10回 The Mad Tea Party 第11回 Who Stole the Tarts? 第12回 Who Stole the Tarts? 第13回 Alice's Evidence 第14回 Alice's Evidence 第15回 授業の総括(試験含む)</p>				
キーワード				
教科書・教材・参考書	『不思議の国のアリス』( <i>Alice's Adventure in Wonderland</i> )			
成績評価の方法・基準等	授業中の課題に対する積極的な取り組み状況 10% 期末試験 90%			
受講要件(履修条件)	予習をもって授業に臨むこと			
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				